



ときわだより

10月号

せせらぎ学びのエリア 上板橋第一中学校 上板橋小学校 常盤台小学校 弥生小学校

令和8年9月30日

板橋区立常盤台小学校



常盤台小学校の魅力は

副校長 三原 唯嘉

先日、以前勤めていた小学校近くの歯医者へ行った時に、「先生」と若い女性から声をかけられました。道端に立ち止まり、話をはじめましたが、担任した子であるとは分かりましたが、恥ずかしながらその子の名前がすぐには出てきませんでした。話している途中のエピソードで「あ、」と名前が出てきました。これは教師の仕事をしている人なら共感してもらえそうです。この子からは今の私が大切にしている「信念」を学ばせてもらいました。（以後 A さんと標記します）

A さんを担任している時に、別の児童対応で苦慮していました。（以後 B さんと標記します）B さんは誰かれ構わずちょっかいを出し、友達を困らせたのです。私は何度も厳しく指導をしましたが、一向にやめません。クラスの友達も「B さんがまた…」と被害を訴えてきます。ただ不思議なことに A さんはやられても被害を訴えてきませんでした。ある時に私は A さんへ聞いてみました。その時の回答に私ははっとさせられました。「B さんは、すぐにちょっかいを出してくるけど、飛行機に詳しくて、話すと楽しいんだよ。」と明るく話してくれました。私は B さんの課題にばかり目を向けていて、良さを見抜けなかった自分が情けなくなりました。その時に良さを生かしながら教師として子どもたちをサポートしようと決意しました。

話は変わりますが、令和8年度は常盤台小学校創立75周年記念のアニバーサリーイヤーです。1学期には記念の航空写真を撮影し、これから開催する運動会や学芸会は「創立75周年記念」との冠が付きます。先日開催したオープンデーで、代表委員の児童が参加した末就学児へ伝えた今の常盤台小の良いところは、以下の3つです。

- ・給食がおいしい
- ・上級生が優しい
- ・みんなで協力し合える行事が多い

また、生成A1に板橋区立常盤台小学校の魅力を教えてと入力すると、以下の内容を教えてくれました。

- ・歴史と伝統の教育環境
- ・温かい地域・保護者との連携
- ・自然豊かで恵まれた周辺環境
- ・充実した教育活動とICT活用

当たり前のことですが、人それぞれ、良いところの感じ方は違います。

私は「今ある良さに目を向けながら、時代の変化とともに良さを変化させ続けられること」が常盤台小の魅力だと思います。人が歴史を紡いでいるため、常盤台小も時代とともに変化しています。人が変わればやり方も変わります。変化へ対応できる「柔軟さ」と、仲間との協力など、人として大切な普遍的なことを守り続ける「信念」が良い学校であり続けるために必要であると考えます。そしてどの世代の方へ聞いても常盤台小は「良い学校」と言ってもらえる、それをこれからも学校に関わる全ての方々とつくりたいと思っています。

これまで常盤台小の歴史を築き上げてくださった、卒業生をはじめ、支えてくださった保護者、地域の皆様へ深く感謝するとともに、引き続き常盤台小が良い学校であり続けられるように変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。